

# 日本スリッター工業株式会社

## 2022 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2021 年10月1日～ 2022 年9月30日)



作成日： 2023年2月28日

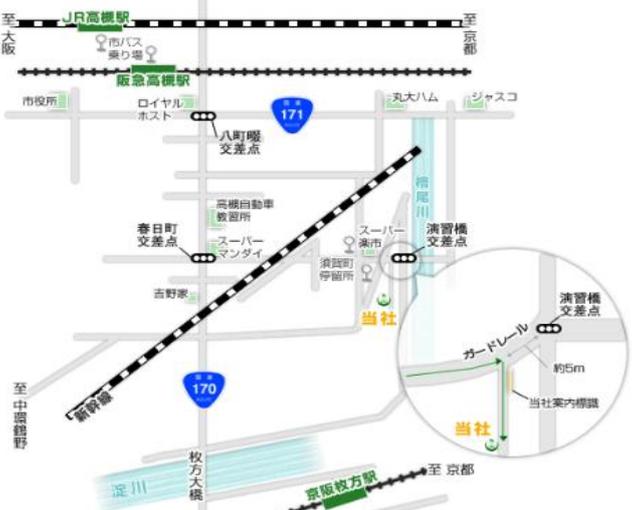
更新日：

# 目 次

項 目
あいさつ
環境経営方針
組織の概要
事業・製品の紹介
環境経営組織図及び役割・責任・権限表
主な環境負荷の実績
環境経営目標及びその実績
環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無
緊急事態対応の試行・訓練
代表者による全体の評価と見直し・指示
これまでの環境活動の紹介

## スリッターとは

スリッター(Slitter/Rewinder)とは、工業用フィルムシート、各種ペーパー、アルミなどの金属箔を希望に応じて必要なサイズ幅にカット(Slitting)し、ロール状に巻き取っていく加工または、機械のことを指します。



## □ごあいさつ

日本スリッター工業株式会社は昭和34年に合成フィルムなどのスリット加工の草分けとして設立しました。日本初のスリッター委託加工業です。合成フィルムやシートなどを一定幅で切り、巻き取っていくスリット加工は今や食品の包材や医薬品の子袋など、同一の規格で大量に生産される商品になくてはならない技術のため、大企業をはじめとして多くのメーカーの大量生産・安定供給を支えてきました。地球温暖化が叫ばれる今、今後の発展はライフサイクルアセスメントや環境共生、省エネルギーといった環境調和型社会を創るため貢献しなければ生き残れません。このため日本スリッター工業株式会社は、これからも環境負荷低減活動と環境教育を通じて、社会貢献の観点より環境保全活動に取り組んでいきます。

## 環境経営方針

### <環境経営理念>

日本スリッター工業は環境保全が経営の重要事項であることを踏まえ、環境経営システムを構築・運用し、全社一丸となって自主的・積極的に環境保全活動に取り組めます。当社の本業であるスリット加工をはじめとしたコーディネート総合加工業として、技術力は勿論の事、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動にも自主的・積極的に取り組めます。

安全で安心していただける付加価値の高い「一卷入魂」の商品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

### <環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 創意工夫による電力等の省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 歩留向上により一般廃棄物及び産業廃棄物（廃プラ）の削減に努めます。
4. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. 包装材のリサイクル化に努めます。
6. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。



制定日：2018年6月25日

代表取締役社長 **高橋秀太**

## □組織の概要

- (1) 名称及び代表者名  
日本スリッター工業株式会社  
代表取締役社長 高橋 秀太
- (2) 所在地  
本社工場 大阪府高槻市大冠町1-16-5
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 代表取締役 高橋 秀太 TEL：072-670-1111  
担当者 業務主任 大西 美恵 TEL：072-670-1111
- (4) 事業内容  
スリット加工によるフィルムの製造
- (5) 事業の規模

		本社工場
従業員	名	20名
延べ床面積	m <sup>2</sup>	2,000 m <sup>2</sup>

- (6) 事業年度 10月1日～9月30日

## □認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 日本スリッター工業株式会社  
対象事業所： 本社工場

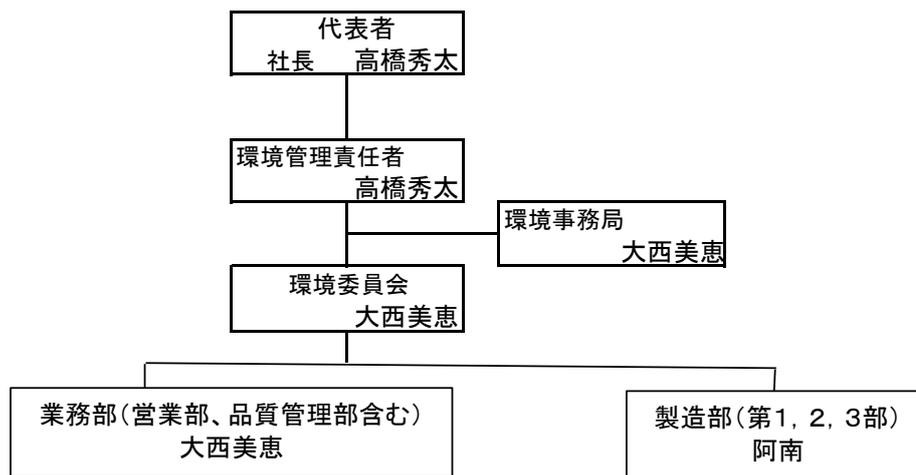
活動： スリット加工によるフィルムの製造

## □事業や製品(商品)の紹介



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2018年7月25日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境経営方針の策定・見直し</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営計画の審議</li> <li>環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	24,752	24,094	23,076	24,427
廃棄物排出量					
一般廃棄物排出量	kg	12,000	12,000	12,000	12,000
産業廃棄物排出量	kg	10,737	4,960	25,908	28,000
水使用量	m <sup>3</sup>	188	159	167	226

※二酸化炭素排出係数 0.318 kg-CO<sub>2</sub>/kWh 関西電力の2019年度の調整後の係数

□環境経営目標及びその実績

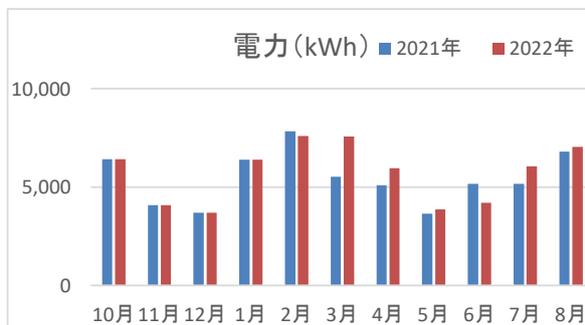
項目	年度	2021年 (基準年)	2022年		評価	2023年 (目標)	2024年 (目標)
			(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	20,538	20,332	22,397	×	19,716	19,511
	基準年度比		99%	109%		96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO <sub>2</sub>	2,538	2,487	2,030	○	2,462	2,437
	基準年度比		98%	80%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	23,076	22,820	24,427	×	22,178	21,947
一般廃棄物の削減	kg	12,000	12,000	12,000	○	12,000	12,000
	基準年度比		100%	100%		100%	100%
産業廃棄物の削減	kg	25,908	25,390	28,000	×	24,613	23,317
	基準年度比		98%	108%		95%	90%
水道水の削減	m <sup>3</sup>	167	159	226	×	154	150
	基準年度比		95%	135%		92%	90%
環境に配慮した生産及びサービスの改善	行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

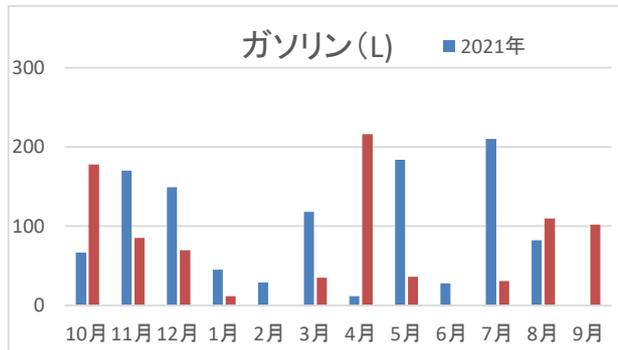
取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
<b>電力による二酸化炭素削減</b>	達成状況	取組結果とその評価、次年度の計画
数値目標	×	電力量は目標を達成することができませんでした。生産量は余り変わっていないが、節電委員による指導および各自が自主活動に取り組んでいたが、例年より3、4月が寒く、暖房用の電力が多くなってしまった。
・不要照明の消灯	○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	○	
・デマンド計の監視	○	
・機器のスタートアップの多段階化	○	



取組紹介欄

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2021年	6,425	4,077	3,697	6,393	7,838	5,528	5,084	3,647	5,169	5,169	6,789	6,423
2022年	6,425	4,077	3,697	6,393	7,599	7,579	5,952	3,855	4,208	6,065	7,041	7,540

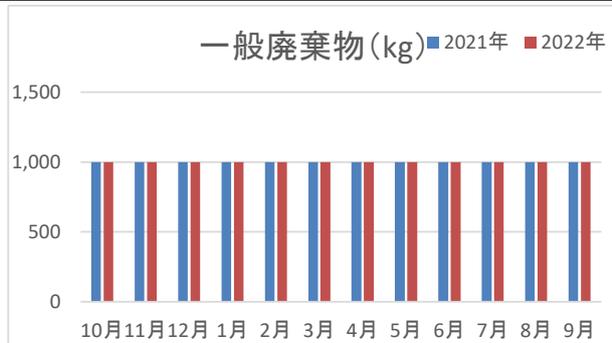
自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の計画
数値目標	○	1, 2, 3月の冬場の雪・凍結の危険があったため、極力公共交通機関を利用したため、目標値を大きくクリアした。
・エコドライブの徹底	○	
・公共交通機関の利用により、社用車の使用削減	○	



取組紹介欄

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2021年	67	170	149	45	29	118	12	184	28	210	82	0
2022年	178	85	70	12	0	35	216	36	0	31	110	102

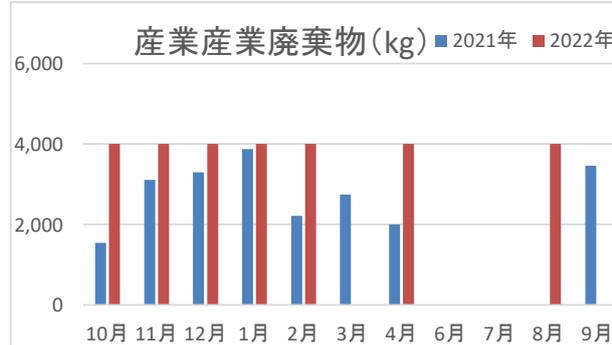
一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の計画
数値目標	○	紙類、プラスチックフィルムの分別により目標を達成できました。
・紙類の分別の徹底	○	
・プラスチックフィルムの再利用	○	



取組紹介欄

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2021年	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
2022年	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000

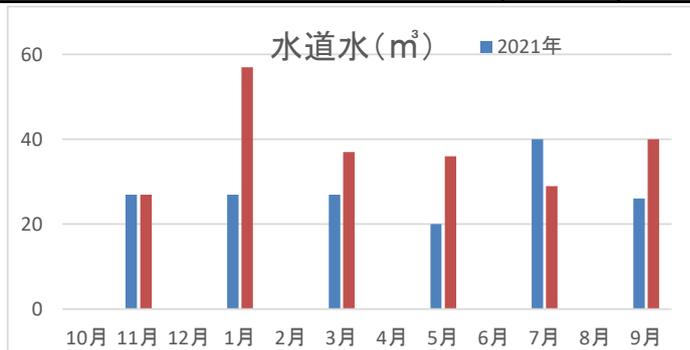
産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の計画
数値目標	X	各樹脂ごとに分別振分けの徹底により、樹脂ごとの業者に売却できる形ができたため、ほとんど埋め立てはなく、焼却も少量になった。次年度もこの形で産業廃棄物を減らし、リサイクルできるよう努めていきたい。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・クレームの発生撲滅に努める	○	
・端材の分別徹底により多くのものが産廃でなく販売できるようになった	◎	



取組紹介欄

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2021年	1,540	3,110	3,300	3,870	2,210	2,740	2,000	3,630	0	0	0	3,460
2022年	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	0	4,000	0	0	0	4,000	0

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の計画
数値目標	×	工場では生産活動としては使用していない。節水を呼びかけましたが、トイレのパッキン不良で大きなもれがあり、目標達成が出来ませんでした。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	



取組紹介欄

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2021年	0	27	0	27	0	27	0	20	0	40	0	26
2022年	0	27	0	57	0	37	0	36	0	29	0	40

環境に配慮した生産及びサービスの改善	達成状況	取組結果とその評価、次年度の計画
・包装材のリサイクル化	○	入荷する材料の包装材をできるだけ出荷する時にもリサイクルできるようにし、新たに購入する包装材の低減に努めている。

### □環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃プラ等、マニフェストの管理報告等）
フロン排出抑制法	業務用空調機（簡易点検）
浄化槽法	定期点検、水質検査
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路交通法	車両の大きさ・重量、通行制限
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

### □外部からの環境上の苦情・要請等

今期は外部からの環境に関する苦情等はありませんでした。

## □緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定: 火災の発生	
■実施日: 2022年9月5日	■実施場所 本社工場
■参加者: 全従業員	
■実施内容: <input checked="" type="checkbox"/> 通報訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 消火訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練	
■評価: 手順書通り、避難、被害状況の確認、けが人確認、通報、消火器の疑似体験を行い、計画通り、実行できました。	手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	

## □代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日: 2022年10月20日

経費に占める電力の割合が高く、これまでLED化、空調機器の更新、デマンド計の設置等のハード面を検討してきました。今期はソフト面として、節電に努力し、その委員の任命、また各自の自主活動に力を入れました。今期は電力の次に経費大きい産業廃棄物を削減すべく、端材の分別振分けの徹底により、各樹脂の買い取り業者に来てもらい、それらを販売する形が出来た。そういう流れで、EA21活動を経営面に活かすように取り組んでゆきたい。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり

## □これまでの環境活動の紹介



(たかつき環境市民会議主催、省エネコンペに参加)

2021.5.13 節電優良賞

2022.5.22 省エネ・節電優秀賞受賞